



株式会社グリーンパワーインベストメント 大佐山風力発電計画視察登山のご案内

大佐山から鷹ノ巣山の西あたりにかけて、広島・島根県境近くに高さ150mの巨大な発電用風車17基を建設する計画が東京の事業者によって進められています。しかしながらこのあたりは西中国山地国定公園指定地とそれに続くブナーミズナラなどの自然植生があり、自然景観に優れ、登山、ハイキングを楽しむ憩いの場所です。そこの樹木を大規模に伐採し、山を削り、道路を通し、風車の鉄塔を建てることは、山容を変え、水の流れを変え、生きものの生態系を変えます。水が豊かな八幡湿原への影響も懸念されます。

今回の企画は、ここに風車が建てられたらどうなるかと思いをめぐらせながらこの自然豊かな山域を歩いてみようというものです。北側の山並みにはすでに稼働している「ウインドファーム浜田」の29基の風車が見えますので、よりイメージしやすいかと思います。またこの風力発電計画には芸北八幡地区のほとんどの住民が反対していて、その核となっている住民組織「八幡高原の景観と環境を守る会」の方から説明を受ける予定にしています。

実施日：2018年4月22日（日）

出発時間・場所：

7:30 県庁北（市民病院南）

7:40 広島駅新幹線口西方（広成ビル前のバス停「東照宮入口」、ゆめマート向い）

7:55 中筋駅南西（にしき堂前）

交通機関：大型バス（定員55名）

費用：4000円程度

担当：広島県勤労者山岳連盟 組織部

行程：広島IC→戸河内IC、道の駅(8:40)→芸北八幡（「守る会」の方から説明）→

「野花の館」の奥（登山口）→県境広場→三方の辻→大原山→大佐山→

傍示峠（下山口）→戸河内IC→広島IC→新白島駅→県庁北→広島駅新幹線口

申込先：各会の担当者（→ 香川佳久県連理事）

申込締切：4月15日

この発電計画を進めている事業者は株式会社グリーンパワーインベストメント。2004年に東京で設立され、現在は米国パターンエナジーグループが2015年に買収、第2株主は日本政策投資銀行。

環境影響評価は事業者が「配慮書」「方法書」「準備書」の順に経産省と地方自治体に送付し、意見を求める。最終的に「評価書」を経産省に提出し審査を受け工事となる。現在は配慮書に対して経産省と知事の意見が事業者に示された段階。方法書に対しては知事意見は事業者ではなく経産省に出せるだけになる。形式上「住民意見」も事業者に出せることになっているが、2週間以内。